

特定非営利活動法人  
シルバーアドバイザー・ネット大阪

第 14 期 通 常 総 会  
議 案 書

開催日時 2020年6月6日(土) 午後1時30分～  
開催場所 大阪ボランティア協会 大会議室

# 通常総会議事次第

- 1 開会
- 2 挨拶
  - 1) 理事長挨拶
  - 2) 来賓挨拶
- 3 議長選任
- 4 議長就任挨拶と議事進行
  - 1) 会議成立要件の確認
  - 2) 議事録署名人の選任
  - 3) 議案審議
    - 第1号議案 第14期事業報告承認の件
    - 第2号議案 第14期活動計算書報告と監査報告承認の件
    - 第3号議案 第15期事業計画（案）の件
    - 第4号議案 第15期活動計算書予算（案）の件
- 5 議長解任
- 6 閉会

# 第1号議案 第14期事業報告

## I. 第14期事業 総括報告

第14期は4年間にわたって当法人を引っ張って頂いた武内理事長が退任され、新しい体制でスタート致しました。大阪府高齢者大学校の修了生から新たな会員も迎え、国際交流の新たな活動も始めました。海外からの留学生との交流を通して、彼らの支援に繋がればとの思いで始めた活動ですが、初めての活動で試行錯誤の状態で一年が過ぎました。大阪大学の留学生ホストファミリープログラムの方は2年目という事もあり楽しく充実した活動を行って頂きました。又各事業部ともに順調に活動を進めて頂きました。

期の初めには法人としての理念・ビジョンの再確認を行いました。3つの事業部がそれぞれに違う活動をする中で共通の目的・ビジョンをもって活動していこうとの想いを共有化しました。

ホームページもリニューアルし、その思いをビジュアルに表現したものを掲載致しました。

「世代・国籍を問わず全ての人々と連携して多文化共生社会の実現を目指す」という一文に思いを込めて目指す姿と致しました。

又長年の赤字傾向に歯止めを掛けるべく、本部経費を洗い直し、本当に必要な物だけを残し、その他のものを削減致しました。結果として今期は黒字に終わる事ができました。NPOと言えども過去の遺産を食いつぶしての活動は社会から評価されないとの思いで今後もやって行きたいと思えます。

## II. 事業部 活動報告

### 1 伝承おもちゃづくり府民塾事業部 活動報告

前期の活動は、次の3点に絞られました。

#### (1) イベント参加

①四天王寺「わか市」(年7回開催、うち6回参加)(中止1回)延500人の参詣者、観光客等来場者との交流が出来ました。毎月交流を楽しみに来る子ども達や、高齢者もあり主催者からも喜ばれています。

②11月開催の「ポジティブ生活文化交流祭」は障がい者支援のイベントですが、市民の来場も多く延120人と幅広い交流が出来ました。

#### (2) 「おもちゃづくり教室」開催。年5回開催(1回中止)、延100人参加。

府下一円から「おもちゃづくり」を通じて地域市民との交流を図る人達が参加。経験の有無は関係なく「伝承おもちゃ」を中心にして、応用や、工夫を加え、また独創的な「おもちゃ」を披露し、より精緻で優美な、しかも簡潔な作り方や材料等の情報を共有し、楽しい雰囲気漂う「場」が続けられていると思っています。(会場は大阪社会福祉指導センター地下会議室)

#### (3) 大阪区民・大阪府民カレッジの各校の受講生の年間カリキュラムの中で、受講生が修了後、地域との交流を図る手段の一つとして「おもちゃづくり」を指導、夏から

秋にかけて催される地域のイベント参加に役立っています。(今期は2校、延3回122人が参加)

### 2. おもしろ算数教室事業部 活動報告

今までのように、出前教室を中心としていたのでは、依頼を受けての活動であることに難点がありました。そこで、主体的におもしろ算数教室を開き

たいと考え、この1年進めてまいりました。大阪社会福祉指導センターにおいて、3か月に1回「谷町教室」と称しておもしろ算数教室を実施しました。参加者からは、「パズルを解いていくと楽しい」「頭がすっきりする」等との声が上がって楽しんで頂きました。この活動「楽しみながら、パズルを解く」ことにより、脳を活性化することが出来、認知症予防のための一つの方法であることを、多くの方々に知って頂きたいものです。また、日曜日の実施により、小学生の参加も得て、新しい局面に至りました。

パズル体験やおもしろ算数パズル塾の活動においては、「おもしろ算数教室とはどのようなものか」を知って頂く絶好の機会だと考えています。しかし、相変わらず「パズル体験への参加には、溝が大きい」ようです。少しでもこの溝を小さくするための工夫が必要です。

サポーター会では、講師を養成するために、マジックの研修を始めました。この機会を増やしていきたいものです。

### 3. 国際交流事業部 活動報告

2018年度から活動を開始した OHP(大阪大学ホストファミリープログラム)の活動と合わせ I-SEP(留学生交流プログラム)と 4Ist(留学生就活支援事業)を立ち上げ、活動を始めました。

I-SEP は OHP の経験を活かし、大阪日本語教育センターの留学生 27 名と高大国際文化交流科の 1 期から 5 期の修了生を中心としたメンバー 41 名が 5 グループに分かれ、日本文化の紹介や様々な交流を行いました。

4Ist は日本企業への就職を目指す留学生の就活支援活動です。留学生向けセミナーの開催や留学生への個別講座の実施等を行いました。又大阪国際交流センター主催の留学生企業セミナーへの講師派遣や「日本での起業・就業セミナー」を主催し留学生へ講習活動を行いました。なお 4Ist の活動は 3 月末で当法人から分離独立して活動を行っていく事になりました。

また大阪府高齢者大学校の助成の関係では DDS への応募を 4 グループが行い活動資金を頂いております。

又高大アワードにおいて留学生就活支援活動に奨励賞を頂きました。また今年新たに 2 月に開催されております第 27 回ワンワールドフェスティバルへの出展を行いました。

### 4. 広報部 活動報告

#### 1) 広報誌の発行

① 広報紙「SA・ネット大阪ニュース」年 3 回発行。

- ・平成 31 年 04 月＝32 号下期報告。
- ・令和 1 年 07 月＝33 号総会資料。
- ・令和 1 年 11 月＝34 号上期報告。

※記事内に会員交流の場としての「会員かわら版コーナー」累計 31 名の方に寄

稿頂き、会員同士の交流活動、情報交換になったのではないかと思います。

②SA ネット大阪 PR チラシ修正版作成(国際交流)し、SA ネット大阪の PR に活用、引きつづき高大(校友会)PR コーナーのラックにも配架し SA ネット大

阪の PR に努めました。

#### 2) ホームページの推進

- ①ホームページのリニューアル、サーバー替えトップページのレイアウト変更を行い、アクセス増加を推進しました。
- ②SA ネット大阪主催のイベント情報
  - ・「国際交流サロン」、「おもちゃづくり教室」、「おもしろ算数教室」「フレイル講座」等、各事業部行事予定をHPにアップ参加者増員に務めました。
  - ・トップページに設けた各事業部「トピックスコーナー」に、毎月のホットなニュースを、アップ、ホット情報を届け参加者増員に務めました。
- 3) 関連団体主催のイベントに参加
  - ・関連団体「コーダイ文化祭」「校友会フェスタ」に参加PRコーナーで資料によるSA ネット大阪のPR、会員募集に努めました。
- 4) 本部経費削減
  - ・ホームページ内製化推進を行い具体化しました。
  - ・広報誌の広告募集の推進を行い、広告協賛を戴きました。
  - ・郵送料の圧縮推進を行いました。

**第2号議案 第14期活動計算書 報告と監査報告**

**I 第14期 活動計算書 報告…別紙「決算報告書」を参照願います。**

**II 第14期 監査報告…… 別紙参照願います。**

## 第3号議案 第15期 事業計画(案)

### I. 第15期 総括事業方針

今期はコロナの影響で活動休止の状態からのスタートとなりました。それぞれが、余りある自宅待機生活の中で活動再開の準備期間を与えて貰ったと思います。

又それぞれの活動の原点・足元を見直す機会にもなりうると思います。

今期の新たな活動としては子ども指導者講座「おもちゃ学校」を開校致しまし、コロナの状況如何で開校時期が変わってきますが、4月末時点の予定では9開校という事です。受講生30名が半年間（当初予定は1年間でした）おもちゃ作りを学び、修了後に子どもおもちゃ教室の指導者になる事を目指しています。この事業は吹田にある「NPO 法人子ども活動塾」とのコラボで実施致します。又この事業は今期大阪府高齢者大学校の中に組織化された、子ども事業部門の中の活動にもなります。「高大子ども事業部門」の沢山のメンバーの方々とも連携していく道ができたと思っています。

又、本部としては国際交流事業部の事業部長空席を埋めるべく当面本部の中国際交流事業部を運営していきたいと思っています。

### II 事業部 活動方針

#### 事業の実施に関する事項

#### 1. 伝承おもちゃづくり府民塾事業部 活動方針

総括事業方針にも触れられていますように、今期は9月以降の活動になるのではないかと考えています。

ただ活動期間が短くても、幼児、小学生からシニア世代まで全ての世代との交流を図る手段として、現在四天王寺「わか市」などで、おもちゃづくりの楽しさ、喜びを味わってほしいと願い活動していますが、今期も引き続き参加、活動します。

また、「おもちゃづくり教室」での参加者との触れ合いを通じて、新しいおもちゃの、開発や工夫を楽しみに、更に、大阪区民カレッジ受講生らへの指導を通じて、地域的な普及の拡がりを共に目指します。

ユウダイ「高大子ども事業」部門との連携、参加も機会があればと思っています。

#### 2. おもしろ算数教室事業部 活動方針

「如何にすれば、おもしろ算数教室やパズル体験に足を運んで頂けるか」を考えています。参加していただくと、高齢者には、脳の活性化がはかられ、認知症予防の一つの方策だと分かって頂けます。

先ず、この教室の内容を理解して頂くためには、パズル体験が良い機会だと考えています。サポーターの皆さんと一緒に、その機会を探り求めていきたいと考えています。

次に、昨年定期的に教室（谷町教室）を開催しましたが、参加人数が増えません。その対策として、

- ①宣伝の方法を如何にするか。
- ②開講の曜日を如何にするか。
- ③内容をより魅力的にするには如何にするか。

等を検討中です。

人気の「清少納言チエの板」に、現在は、新しい「ユークリッドのチエの板」

をサポーターの方と協同で作成中です。

更に、昨年度より進めたサポーターの方々へのマジックの研修をすすめ、講師の養成を目指します。

### 3. 国際交流事業部 活動方針

事業部長が空席でのスタートとなり当面本部で運営していく事と致します。コロナの影響で OHP(大阪大学留学生ホストファミリープログラム) は前期の活動は無く、後期のみの予定です。同じく I-SEP(留学生交流プログラム) も前期は活動できずコロナの終息を待ってのスタートとなります。

昨年度、新たに活動に加わって頂いた会員の方に対しては新たな国際交流の活動を模索し提案していきます。

### 4. 広報部 活動方針

#### 1) 広報紙の継続発行

① 広報紙「SA・ネット大阪ニュース」は、年2回令和2年7月・10月の発行を目指します。

- ・協賛金組織による広告宣伝費協力をお願いします。
- ・継続して会員交流の場「かわら版コーナー」等、充実した内容を図り発信します。

②各事業部イベントチラシの支援、受講者アップを図ります。

#### 2) 啓発活動

①高大校友会の PR コーナーのラックにも継続して「PR チラシ」等を配架、SA ネット大阪の PR に努めます。

② 関連団体行事の「高大文化祭」「高大スポーツ大会」「高大修了式」「大阪区民、大阪府民カレッジ修了式」に事務局と共同で参加し、PR ブースで資料での SA ネット大阪の PR に努めます。

#### 3) ホームページの推進

①SA ネット大阪主催のイベント「フレイル講演会」「国際交流サロン」、「おもしろ算数教室」、「おもちゃづくり教室」等の各事業部の資料更新と引き続き「事業部トピックスコーナー」の充実で、定期的なホットニュースを発信します。

②「SA ネット大阪ニュース」を、引き続き年2回令和2年7月・10月に HP に アップします。

③関連団体の大阪府高齢者大学校、高大校友会、関連団体のイベントの報告を更新します。

- ・ SA ネット大阪会員の主催する情報も随時掲載して更新を図ります。

④ホームページアクセス数アップを図ります。

#### 4) SA ネット大阪本部経費

- ・ SA ネット大阪本部収支改善を図ります。

**第4号議案 第15期活動計算書予算(案)……………別紙参照願います。**